

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ



September.2015

シネラ・ニュース No.220



通常上映

アジアフォーカス・福岡国際映画祭協賛

日本映画名作選

昭和40年代に製作された日本映画の名作、秀作を特集。



さらばモスクワ愚連隊



家族

©1970松竹株式会社



八月の濡れた砂

肉弾

通常上映

アジアフォーカス・福岡国際映画祭協賛

日本映画名作選

昭和40年代に製作された
日本映画の名作、秀作を特集。

会期：9月2日(水)～27日(日)
※休館日・休映日除く
観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)
※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳の提示が必要です)
※「わの会」会員は250円。(会員証の提示が必要です)

2【水】14:00
6【日】14:00
11【金】14:00

東京オリンピック



1964年10月に開催された東京オリンピックのドキュメンタリー映画。「東洋の魔女」と言われた女子バレーボールやアベベが優勝したマラソンなどの競技が記録されているが、市川監督は脚本家を起用し絵コンテを作成、当時最先端の技術により製作された。大ヒットを記録したが、「芸術か記録か」との議論を巻き起こしたことでも有名な作品。 ※途中5分間の休憩あり。

監督：市川 崑

1965年/35ミリ/カラー/169分/東京オリンピック映画協会

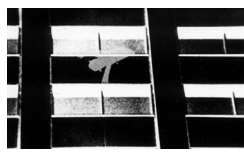
12【土】11:00
18【金】11:00
26【土】11:00

60年代短編プログラム

殺人狂時代

1966年/35ミリ/カラー/10分/久里洋二

幻影都市



1967年/16ミリ/カラー/5分/島村達雄

伝説の午後 いつか見たドラキュラ



1967年/16ミリ/カラー/39分/大林宣彦

おかしさに彩られた悲しみのバラード

1968年/16ミリ/モノクロ/12分/原正孝

エクスタシス

1969年/16ミリ/モノクロ/11分/松本俊夫

漫画家・久里洋二の実験アニメ「殺人狂時代」。CMディレクター等で活躍した島村達雄の幻想的なアニメ作品「幻影都市」。大林宣彦監督のアマチュア時代の実験的な作品「伝説の午後 いつか見たドラキュラ」。原将人監督(旧名原正孝)が高校生時代に発表して注目を浴びた「おかしさに彩られた悲しみのバラード」。映像作家・松本俊夫の実験映画「エクスタシス」。60年代後半のバラエティに富んだ時代のイメージ。 ※アニメ作品は大人向けです。

3【木】14:00
6【日】11:00
12【土】14:00



©1970松竹株式会社

家族

長崎県伊王島に住む民子は、夫の精一、子供の剛、早苗、祖父の源造と5人暮らし。精一の会社が倒産したことをきっかけに、一家は農場経営を夢見て北海道に向かう。精一は徳山でサラリーマンの弟に会い、源造の世話を頼もうとするが狭い団地では無理だった。やむなく一家は大阪万博などを見て東京に着くが、赤ん坊の早苗が急病となり死んでしまう。

長崎から北海道までの一家の旅を描いており、旅の途中の移り変わる日本の景色が背景に描かれる。徳山の石油コンビナート、最先端の技術を集めた大阪万博の前で立ちすくむ家族の姿は、当時の一般庶民の眼で切り取った日本の姿であろう。

監督：山田洋次
出演：倍賞千恵子
井川比佐志

山田監督が5年の構想の末に映画化した作品で、山田監督の傑作の一本である。

1970年/35ミリ/カラー/106分/松竹

4【金】11:00
16【水】14:00
23【水祝】11:00

日本大俠客



大陸から無一文で引き揚げてきた吉田磯吉が、石炭景気に沸く故郷の北九州・若松に帰り、出世していく様を描く。九州の俠客議員と言われた吉田磯吉の若き日を描いた任侠映画。磯吉の長男敬太郎が書いた伝記を元にしているが、実在の人物にこだわらず映画化されており、鶴田浩二が男気溢れる磯吉像を作り上げている。

監督：マキノ雅弘
出演：鶴田浩二
藤 純子

1966年/35ミリ/カラー/95分/東映

13【日】11:00
19【土】11:00
27【日】11:00

70年代短編プログラム

シンジユクステーション

1970年/16ミリ/モノクロ/16分/城之内元晴

トマトケチャップ皇帝

1970年/16ミリ/モノクロ/27分/寺山修司

風流

1972年/16ミリ/カラー/11分/粟津潔

メイド・イン・ジャパン



1972年/16ミリ/カラー/9分/木下蓮三

詩人の生涯

1974年/35ミリ/カラー/19分/川本喜八郎

詩人・城之内元晴制作の実験映画「シンジユクステーション」。作家・劇作家として活躍した寺山修司の実験的な劇映画「トマトケチャップ皇帝」。グラフィックデザイナー、粟津潔による「風流」と様々なジャンルのアーティストによるイメージの世界。そして木下蓮三と川本喜八郎という日本を代表するアニメーション作家の時代を感じさせる秀作を上映。

※アニメ作品は大人向けです。

3【木】11:00
16【水】11:00
20【日】14:00

肉弾



昭和20年。ドラム缶に乗って海を漂う「あいつ」は、戦争が終わったことも知らずに敵を待ち続ける。本作に登場する「あいつ」は監督自身を戯画化したもの。監督は陸軍士官学校に入校し、21歳の時終戦を迎えている。戦争のために空しく費やした青春の滑稽さと、やり場のない怒りが本作にはあふれている。

監督：岡本喜八
出演：寺田農
大谷直子

1968年/35ミリ/モノクロ/116分/ATG=「肉弾」をつくる会

4【金】14:00
20【日】11:00
23【水・祝】14:00

男はつらいよ



父親とけんかして家を飛び出した寅次郎は、両親が死んだと聞き、妹のさくらに会うために葛飾柴又に帰ってくる。さくらのために何でもしようと張り切り寅次郎だが、見合いの席で大失敗し、破談になってしまう。全48作、20年以上も続いた名シリーズの記念すべき第一作。見事な脚本の日本映画を代表する人情喜劇である。

監督：山田洋次
出演：渥美清
倍賞千恵子

1969年/35ミリ/カラー/91分/松竹

9【水】11:00
19【土】14:00
26【土】14:00

八月の濡れた砂



湘南海岸。高校生の清は若者たちにレイブされた早苗を助ける。これをきっかけに清と友人の健一郎、早苗と姉の真紀4人の遊びが始まる。名作「狂った果実」(56年)の70年代版といえる作品。大衆の海水浴場となった湘南に当時の若者文化が溢れる。若者たちの無軌道な暴走を描いた藤田敏八監督の代表作。

監督：藤田敏八
出演：村野武範
テレサ野田

1971年/35ミリ/カラー/91分/日活

10【木】14:00
17【木】11:00
21【月・祝】14:00

水俣一揆 一生を問う人々



1973年、水俣病の患者たちは企業のチッソを相手に損害賠償請求の裁判を起こし勝訴。これを受け患者たちは企業との直接交渉を行った。ほぼ会議室内での交渉を記録しているが、会社の社長や重役たちに向けられる患者たちの言葉はすさまじいばかりである。公害が社会問題となった時代を記録したドキュメンタリーの秀作。

監督：土本典昭

1973年/16ミリ/モノクロ/108分/青林舎

5【土】11:00
10【木】11:00
21【月・祝】11:00

さらばモスクワ愚連隊



音楽プロモーターの北見は外務省の友人から、ソビエトでのジャズライブの開催を任せられる。下見のためモスクワに来た北見はソビエトの開放政策とともに現れた新しいファッションの若者たちと出会う。そしてトランペットを吹くミーシャの才能に惹かれる。原作は五木寛之の同名小説。異色の音楽映画で、日野皓正などジャズミュージシャンが特別出演している。

監督：堀川弘通
出演：加山雄三
ビーター・アレクセフ

1968年/35ミリ/カラー/97分/東宝

5【土】14:00
11【金】11:00
22【水・祝】11:00

私が棄てた女



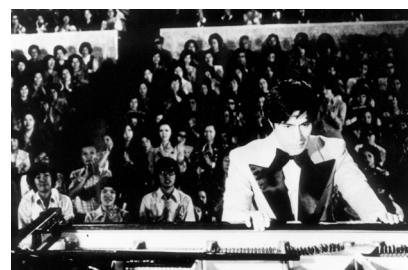
サラリーマン吉岡は社長の娘のマリ子と結婚の予定だった。吉岡はある日学生時代につき合って捨てた女・ミツが自分の子供を墮胎していたことを知り、慙愧の念に駆られる。田舎から東京に出てきて、学生運動に挫折し出世を目指す吉岡には当時の脆弱なインテリ層が投影される。「人生」とはなにか、「愛」とはなにかを浦山監督が斬新な映像感覚で問いかける。

監督：浦山桐郎
出演：河原崎長一郎
浅丘ルリ子

1969年/35ミリ/パートカラー/116分/日活

13【日】14:00
18【金】14:00
27【日】14:00

砂の器



国鉄蒲田駅構内で初老の男の死体が発見される。担当する二人の刑事は執念の捜査で男の身元を割り出し、天才作曲家として評判の男を容疑者として特定していく。そこには男と父親の人には言えない過去があった。野村芳太郎監督の代表作であり、70年代を代表する日本映画の名作の一本として有名な作品。

監督：野村芳太郎
出演：丹波哲郎
加藤 剛

1974年/35ミリ/カラー/143分/松竹=橋本プロダクション

9【水】14:00
17【木】14:00
22【水・祝】14:00

三里塚辺田部落



1966年、成田空港の建設に反対する「三里塚闘争」が始まる。小川プロのスタッフは長期にわたって農民たちの闘争を記録しドキュメンタリー映画を制作していく。本作は「三里塚シリーズ」の6作目。本作の特徴は農民と機動隊の衝突ではなく、政府の弾圧に対しいかに団結するかという農民の集会の様子とともに、辺田部落に暮らす人々の生活と歴史を丹念に記録していることである。

監督：小川紳介

1973年/16ミリ/モノクロ/146分/小川プロダクション

9月

上映スケジュール



1	火	休館日
2	水	14:00 東京オリンピック
3	木	11:00 肉弾 14:00 家族
4	金	11:00 日本大俠客 14:00 男はつらいよ
5	土	11:00 さらばモスクワ愚連隊 14:00 私が棄てた女
6	日	11:00 家族 14:00 東京オリンピック
7	月	休館日
8	火	休映日
9	水	11:00 八月の濡れた砂 14:00 三里塚辺田部落
10	木	11:00 さらばモスクワ愚連隊 14:00 水俣一揆 一生を問う人々
11	金	11:00 私が棄てた女 14:00 東京オリンピック
12	土	11:00 60年代短編プログラム 14:00 家族
13	日	11:00 70年代短編プログラム 14:00 砂の器
14	月	休館日
15	火	休映日
16	水	11:00 肉弾 14:00 日本大俠客
17	木	11:00 水俣一揆 一生を問う人々 14:00 三里塚辺田部落
18	金	11:00 60年代短編プログラム 14:00 砂の器
19	土	11:00 70年代短編プログラム 14:00 八月の濡れた砂
20	日	11:00 男はつらいよ 14:00 肉弾
21	月祝	11:00 さらばモスクワ愚連隊 14:00 水俣一揆 一生を問う人々
22	火祝	11:00 私が棄てた女 14:00 三里塚辺田部落
23	水祝	11:00 日本大俠客 14:00 男はつらいよ
24	木	休館日
25	金	休映日
26	土	11:00 60年代短編プログラム 14:00 八月の濡れた砂
27	日	11:00 70年代短編プログラム 14:00 砂の器
28	月	休館日
29	火	休映日
30	水	休館日

Focus on Asia International Film Festival Fukuoka 2015

アジアフォーカス・福岡国際映画祭2015

今年25周年を迎え、9月18日(金)から25日(金)まで8日間、チャンネル博多内・ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13、ぼんプラザホールなどで開催します！

25回目の今年は、新作・日本未公開作品を集めた公式招待作品15作品を上映。その他にも、特集上映や協賛企画等の作品を含めて100作品以上を上映する予定です。



インビジブル

今年の公式招待作品は、19世紀、中央アジアにおいてキルギス人の誇りを貫いた高地民族の女王の生涯を壮大に描いたキルギス映画「山嶺の女王クルマンジャン」、福岡でも撮影を行った、フィリピン人出稼ぎ労働者の苦悩と悲哀を描いたフィリピン映画「インビジブル」、実在したマオリ族のチェスプレイヤーを情熱的に描いたニュージーランド映画「ダークホース」など、充実のラインナップです。

また、インドネシアを大特集する「マジック☆インドネシア」では、インドネシア映画界を代表するガリン・ヌグロホ、リリ・リザ、エドウィン監督等、次代を担う若手監督の作品も上映。更にステージイベント等も開催し大々的にインドネシアを紹介します。

◆ホームページ

<http://www.focus-on-asia.com> 《「アジアフォーカス」で検索》

◆お問い合わせ先

映画祭実行委員会事務局 TEL:092-733-5170
福岡国際映画祭インフォメーション TEL:080-8564-5475
(9月1日(火)より、10時～17時、土日祝も対応)

【概要】

■プレイベント(要事前申し込み)

「あなたが選ぶ アジアフォーカス ザ・ベスト」作品上映会
8月30日(日)会場:福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
※上映作品、時間など、詳細についてはHPでお知らせします。

■アジアフォーカス・福岡国際映画祭2015

9月18日(金) オープニング上映会
会場:ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13(キャナルシティ博多4階)
市政だより、HPで一般招待者を募集します。
9月18日(金) オープニング・セレモニー(レッドカーペット)
会場:キャナルシティ博多地下1階サンプラザステージ(観覧自由)
時間:19:00～(予定)
9月19日(土)～25日(金) 一般上映
会場:ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13、ぼんプラザホール

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄
西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。
バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話 0570-00-1010)に直接お問い合わせください。



第357回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日時:2015年9月18日(金)12:00～13:00 ※入場無料
場所:西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)
曲目:ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲第7番へ長調 Op.59-1 他
演奏者:福岡ハイドン弦楽四重奏団
主催:西日本シティ銀行/公益財団法人福岡文化財団(Tel 092-473-6777)



音楽文化のリサイクル

レコード/CDお売り下さい!!

092-734-4198

〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-14 立花ビル2F(AM11:00～PM8:00)

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):092(852)0600

Fax:092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>